

# EGOTERIC

P-70



D00641500D

**TEAC**

# 目次

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ございます。

ティアック技術の集大成により完成された「エソテリック」製品は、一台一台が数多くの厳しい品質管理を受けて製造されており、最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

特長	3
安全にお使いいただくために	4
使用上の注意	7
お使いになる前に	8
防振装置について	
設置について	
電源の極性管理について	
接続	9
各部の名称	12
リモコンの使い方	14
設定	15
ワード・シンク	
アップコンバート	
基本操作	16
選曲するには	18
聴きたい曲を探すには（スキップ）	
聴きたい部分を探すには（サーチ）	
好きな曲から再生するには	
インデックスサーチ	
一曲だけ再生するには	20
リピート再生	21
プログラム再生	22
デリートプログラム再生	24
ディスプレイの表示	25
便利な機能	26
曲の間を4秒あけて再生するには	
タイマー再生	
コンパクトディスクについて	27
解説	28
困ったときは	30
仕様	31
寸法図	32
保証とアフターサービス	33

# 特 長

## VRDSメカニズム

### (アルミ切削ターンテーブル及びターンテーブル・ブリッジ採用)

ディスクと同径のターンテーブルにディスクを確実にクランプさせることにより、ディスク自身の持つ固有振動やメカニズム系の不要振動を徹底排除しています。また、ディスク圧着面にゆるやかな傾斜を与えることにより、ディスクの反りや歪みを矯正しています。さらに、光学ピックアップとディスクのピット面の相対光軸精度が向上するため、サーボ電流が軽減されます。以上のことは、ディスク読み取りエラーを減少させ、かつクロック回路へのタイミングエラー発生防止にも効果を発揮します。また、今回のP-70では、精度を上げるためにターンテーブル・ブリッジもアルミ、炭素工具鋼切削加工品を使い、リジッド・メカの特徴を更に引き出しています。

## ワードシンク WORD SYNC

WORD SYNC出力のあるD/Aコンバーターとマスター・クロックの同期をとる事ができます。このモードでは、D/Aコンバーターが自分自身のマスター・クロックを使うので、CDドライブユニットからD/Aコンバーターにデジタル・データを送るときに発生する伝送ジッターを原理的に無くすことができます。

## メカニズム系とデジタル信号系の電源部を完全分離した、2トランス構成

電源部を通じての相互干渉を排除するため、メカニズム制御系とデジタル信号系（ワードシンク、アップコンバータ、クロック部）とを完全分離した、独立カットコアトランスを2個搭載しています。

## アップコンバート(2Fs, 4Fs)デジタル出力4系統を含む、 7系統のデジタル出力

通常の44.1kHzのデジタル出力端子3系統(RCA×1、TOS×2)の他に、アップコンバート(2Fs：24ビット/88.2kHz、4Fs：24ビット/176.4kHz)デジタル出力端子4系統(XLR×2、RCA×1、TOS×1)を備えています。4Fs(24ビット/176.4kHz)は、XLR端子からデュアルAES仕様に準拠してデジタル出力されます。

アップコンバート回路の演算アルゴリズムは、ティアック独自のRDOT方式を採用しています。

## 超高剛性シャーシ&3点支持ピンポイント脚

8mm厚スチール・ボードをベースとし、最大厚20mmのH型アルミ押し出し材にVRDSメカニズムを直付け、前面および側面には1.6mm厚の銅メッキ剛板にさらにニッケル・メッキを施した二層構造とすることにより、内部干渉を極力排除し、さらなる音質の改善に成功しました。また、工具鋼を焼き入れ処理した高硬度の3点支持ピンポイント脚により、振動分散効果が向上しました。

# 安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 表示の意味



### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。



### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号



一般的な注意

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

### 行為を指示する記号



電源プラグをコンセントから抜け



一般的な強制



### 警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。







### 万一、異常が起きたら

煙が出たり、変なおいや音がするときは。

機器の内部に異物や水などが入ったときは。

この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。

すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。

 <b>警告</b>	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
	<p><b>電源コードを傷つけない。</b>            電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。            電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。            コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。</p>
	<p><b>電源プラグにほこりをためない。</b>            電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。</p>
	<p><b>交流100ボルト以外の電圧で使用しない。</b>            この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p><b>通風孔に異物を入れない。</b>            内部に金属類や燃えやすいものなど異物が入ると、火災・感電の原因となります。</p>
	<p><b>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。</b>            内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
	<p><b>通風孔をふさがない。</b>            通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p>
	<p><b>この機器のカバーは絶対に外さない。</b>            カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。</p>
	<p><b>この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。</b>  <b>ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。</b>            内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>

# 安全にお使いいただくために



## 注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

	<p>オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。 また、接続は指定のコードを使用する。</p>
	<p>電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>
	<p>この機器は約25kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。</p>
	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。 湿気やほこりの多い場所に置かない。 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。 火災・感電やけがの原因となることがあります。</p>
	<p>電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。</p>
	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p>
	<p>ディスクの挿入口に手を入れない。 特にお子様にはご注意ください。けがや故障の原因となることがあります。</p>
	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。</p>
	<p>お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。</p>

## 使用上の注意

- 組み合わせて使用するステレオシステムのそばの安定した場所に設置してください。
- 本機の上には物を置かないでください。上に布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上に置かないでください。
- CD、CD-R、カセットテープなど、熱に弱いものを本機の上に置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 極端に温度が低い場所や、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。故障の原因になります。
- ガラスドア付きラックに設置した場合、ガラスドアを閉めたままリモコンの開閉ボタン(▲)を押してディスクトレイを開けないでください。強い力でディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- 本機の近くにチューナーやテレビを置くと、ノイズが混入することがあります。それらの機器とは離して置か、電源を切ってください。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。

### 結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に動作するようになります。

### お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

**⚠** お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

# お使いになる前に

## 防振装置について

出荷時は輸送時の振動防止のため、ピックアップ部を防振装置で固定してあります。**接続をする前に、必ず防振装置を解除してください。**

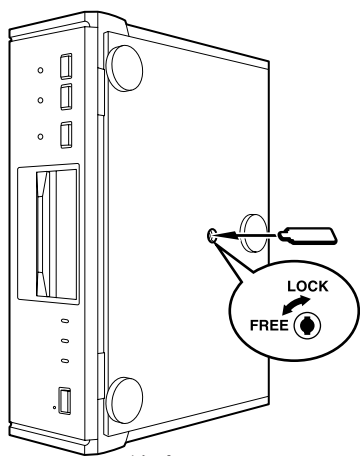
### 防振装置を解除するには

下の図のように左側面を下にして立て、付属の“金具”を底面の穴に差し込んで、左方向（FREE側）へ約30度、軽くゆっくり回してください。

### 引越しなどで輸送するときは

ピックアップ部を防振装置で固定してください。

1. 電源を入れてディスクトレイを開き、中にディスクが入っていないことを確認してからトレイを閉じる。
2. 電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜く。
3. 接続に使っているコードを全てはずす。
4. 下の図のように左側面を下にして立て、付属の“金具”を底面の穴に差し込んで、右方向（LOCK側）へ約30度、軽くゆっくり回して防振装置で固定する。



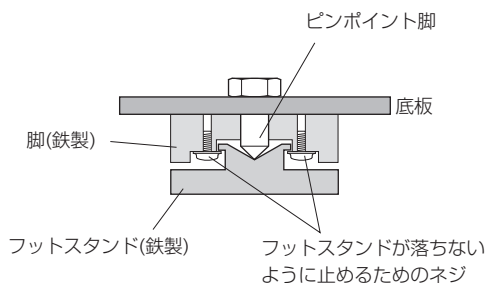
### 注意

防振装置は、軽く少し回すだけで解除、または固定できます。力を入れて回すと防振装置を破損する恐れがありますのでご注意ください。

## 設置について

本機の底板には、工具鋼を焼き入れ処理した高硬度ピンポイント脚と鉄製の脚が強固に取り付けられています。

フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。

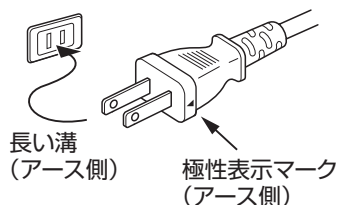


- 本機は大変重いので、設置の際は、けがをしないように十分ご注意ください。
- 床を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

## 電源の極性管理について

本機はより良い音質を得るために、電源の極性管理をしています。電源コードのプラグ部分に、極性管理用の極性表示マーク(▲)が付いています。本機では、印の付いている方がアース側です。

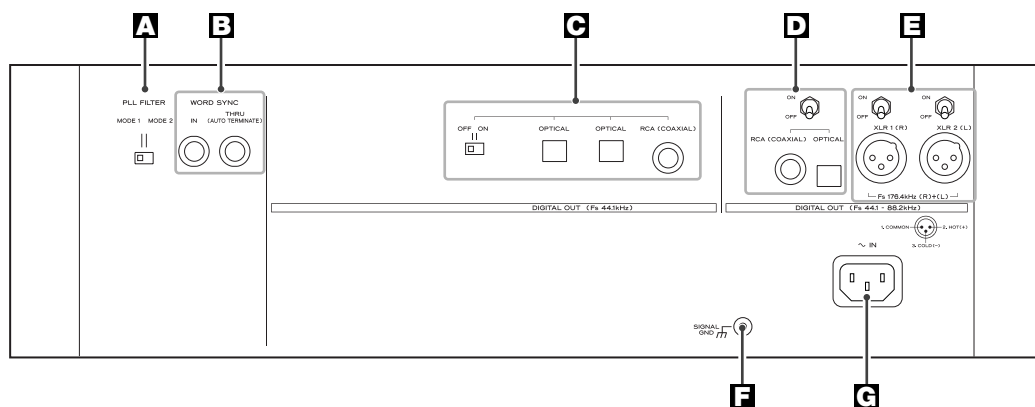
一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。極性表示マークが付いている側の差し込み刃をコンセントの長い溝の方に差し込んでください。なお、極性管理されていない電源コンセントに接続するときは、電源プラグを逆に差し込んでみるなどの方法で音質の良い方を選択してください。





# 接 続

## 本体背面



### A PLLフィルター

ワード・シンク端子に接続した機器の同期信号(ワード)からマスタークロックを作るときの定数変更をします。通常はMODE1をお選びください。

- MODE2のループフィルター・カットオフ周波数の値は、MODE1の約10倍です。同期信号および伝送時のジッターをほとんど無視できる状態になります。高精度の同期信号を受けられる場合は、MODE2をおすすめします。
- MODE2を選ぶと、同期信号に対する追従性が低下するため、ロックするまでの時間が長くなる場合があります。

### B ワード・シンク端子 [WORD SYNC]

IN端子にD/Aコンバーターなどからの同期信号を入力します。THRU端子(オートターミネート付)は、IN端子から入力した信号をそのまま出力します。

### C デジタル出力端子(Fs44.1kHz)

スイッチをONにすると、デジタル端子(OPTICALx2、RCAx1)からFs44.1kHzのデジタル信号を出力します。

### D デジタル出力端子(Fs44.1~88.2kHz)

スイッチをONにすると、デジタル端子(OPTICALx1、RCAx1)からFs44.1~88.2kHzのデジタル信号を出力します。

### E デジタル出力端子(Fs44.1~88.2kHz)

スイッチをONにすると、デジタル端子(XLRバランス型コネクタ)からFs44.1~88.2kHzのデジタル信号を出力します。

- サンプリング周波数を176.4kHzにアップコンバートして再生する場合は、XLR1[R]からRチャンネルを、XLR2[L]からLチャンネルを出力します。

### F アース端子[GND]

市販のビニール電線をD/Aコンバーターとアース接続すると、音質が良くなる場合があります。

### G 電源コード接続ソケット

付属の電源コードを差し込んでください。

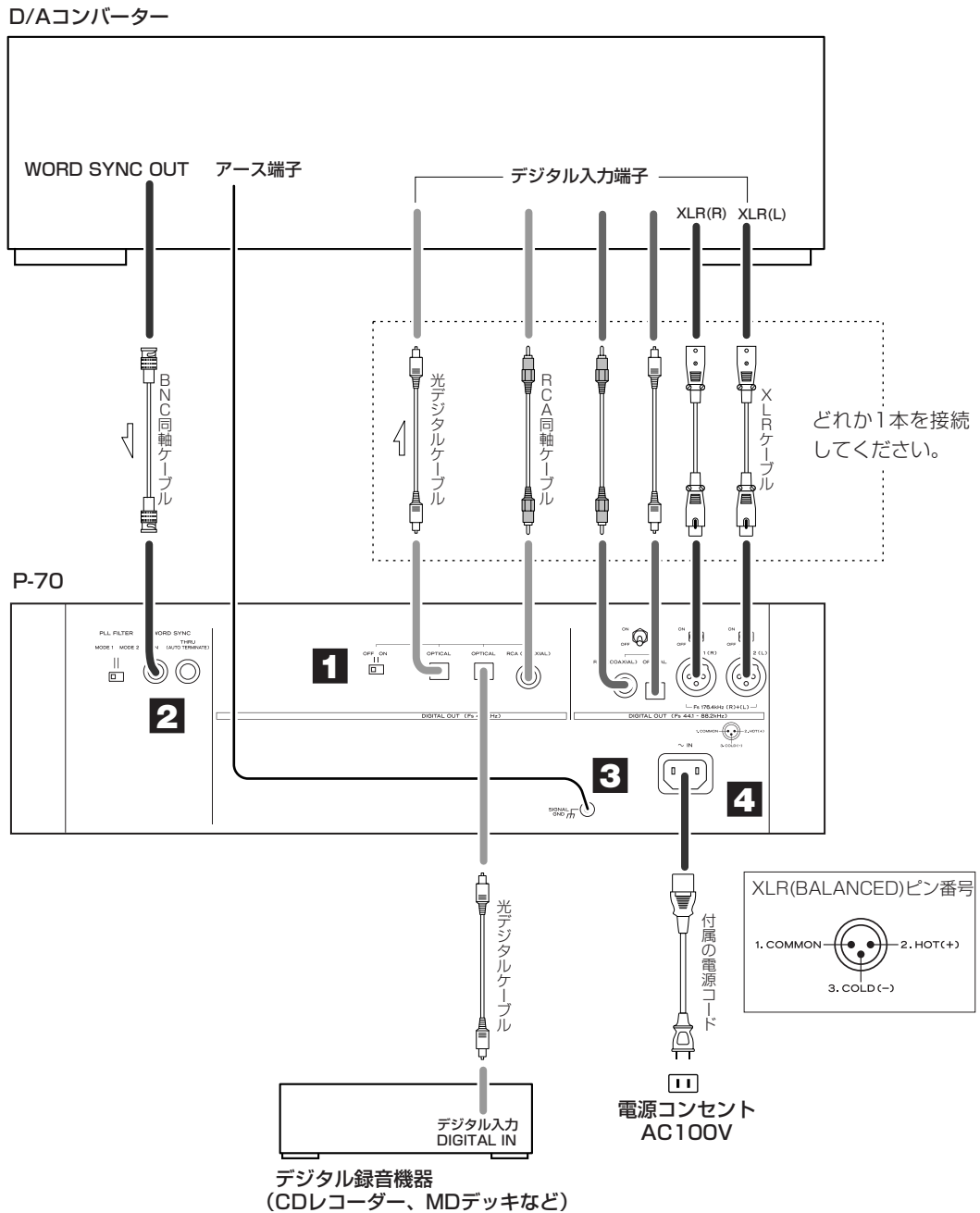
#### デジタル出力端子について

- 周波数をアップコンバートする場合は、**D**または**E**の端子をお使いください。
- **D**または**E**の端子に接続した機器でデジタル録音すると、曲番が見つからないことがあります。デジタル録音するときは**C**の端子をお使いください。
- 使用しない端子のスイッチはOFFにしておいてください。

# 接 続

## ⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- P-70とD-70を組み合わせるお使いになるときは、D-70の取扱説明書の10、11ページをお読みください。



## 1 デジタル出力端子

本機のデジタル出力端子(XLR、RCA、OPTICAL)のどれかひとつを、D/Aコンバーターのデジタル入力端子と接続します。

**接続には市販のケーブルをお使いください。**

XLR(BALANCED) : バランス型XLRデジタルケーブル

RCA(COAXIAL) : RCA同軸ケーブル

OPTICAL : 光デジタルケーブル(TOS)

- XLR1(R)とXLR2(L)はDual AES対応です。D/AコンバーターがDual AESに対応している場合は、2本のXLRケーブルを使って本機のR端子とD/AコンバーターのR端子、本機のL端子とD/AコンバーターのL端子をそれぞれ接続してください。本機のUP CONVERTスイッチ(15ページ)をON・4Fsにすると、Fs176.4kHzの音をお楽しみいただけます。
- D/AコンバーターにXLR端子が1つしかない場合や、RCAまたはOPTICALと接続した場合は、周波数はFs44.1~88.2kHzになります。
- OPTICAL端子を使うときはキャップを外してください。使用しないときはキャップを付けておいてください。

**使用する端子のスイッチをONにしてください。ONにしないと、デジタル信号を出力しません。**

**より良い音質のために、使わない端子のスイッチはOFFにしておいてください。**

## 2 ワード・シンク端子 [WORD SYNC]

ワード・シンク機能を使うときは、本機のWORD SYNC IN端子とD/AコンバーターのWORD SYNC OUT端子を市販のBNC同軸ケーブルで接続します。

- THRU端子(オートターミネート)は、IN端子から入力した信号をそのまま出力します。WORD SYNC IN端子のある機器と接続する場合にお使いください。

## 3 アース端子[GND]

市販のビニール電線でD/Aコンバーターとアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

## 4 電源コード

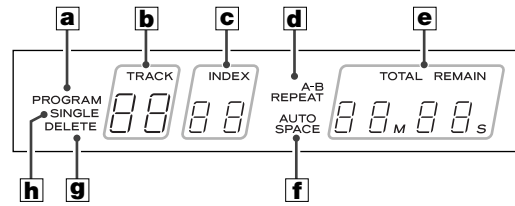
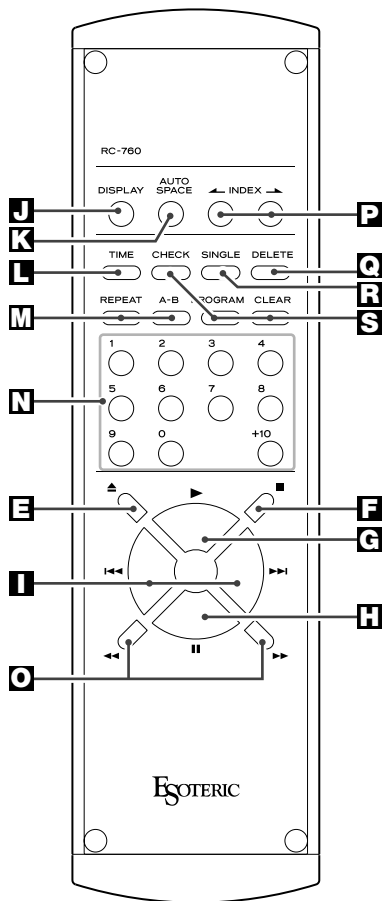
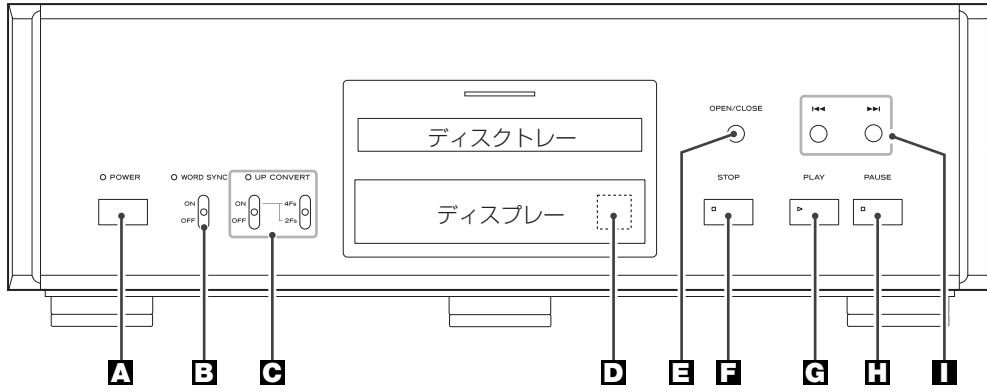
電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

**⚠** 付属の電源コード以外には使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

エソテリックのリファレンスに使用しているケーブルは、ヴァン・デン・ハル社製です。本機の性能をフルに発揮するために、下記の高音質ケーブルの使用をおすすめします。

RCA同軸ケーブル	VH-DICO-10RC
BNC同軸ケーブル	VH-DICO-10BC
XLRケーブル	VH-GOLD-10XW またはVH-THUN-10XW

# 各部の名称



- a** プログラムインジケータ(22ページ)
- b** 曲番表示(17ページ)
- c** インデックスまたはプログラム番号表示  
(17, 22ページ)
- d** リピートインジケータ(21ページ)
- e** ディスクの時間表示(25ページ)
- f** オートスペースインジケータ(26ページ)
- g** デリートインジケータ(24ページ)
- h** シングル再生インジケータ(20ページ)

**A** 電源スイッチ [POWER]

電源のオン/オフを切り換えます。  
オンのときはインジケーターが点灯します。

- 本機を移動するときは、ディスクを取り出し、電源をオフにしてください。

**B** ワード・シンクスイッチ  
[WORD SYNC]

ワード・シンクのオン/オフを切り換えます。  
(15ページ)

**C** アップコンバートスイッチ  
[UP CONVERT]

アップコンバートのオン/オフと、2Fs/4Fsを切り換えます。(15ページ)

**D** リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

**E** 開閉ボタン (OPEN/CLOSE ▲)

ディスクトレイを開閉します。(16ページ)

**F** 停止ボタン [STOP ■]

再生を停止します。(17ページ)

**G** 再生ボタン [PLAY ▶]

再生します。(17ページ)

**H** 一時停止ボタン [PAUSE II]

再生を一時停止します。(17ページ)

**I** スキップボタン [I◀◀/▶▶I]

前または後ろの曲にスキップします。(18ページ)

**J** ディスプレーボタン [DISPLAY]

ディスプレイを消灯します。(25ページ)

**K** オートスペースボタン [AUTO SPACE]

曲の間を4秒あけて再生します。(26ページ)

**L** タイムボタン [TIME]

時間表示を切り換えます。(25ページ)

**M** リピート、A-Bボタン [REPEAT, A-B]

リピート再生に使用します。(21ページ)

**N** 数字キー

選曲やプログラム再生に使用します。(18ページ)

**O** サーチボタン [◀◀/▶▶]

再生中にサーチボタンを押したまましていると、早送り/早戻しができます。(18ページ)

**P** インデックスボタン [◀INDEX▶]

インデックスサーチに使用します。(19ページ)

**Q** シングルボタン [SINGLE]

シングル再生に使用します(20ページ)

**R** デリートボタン [DELETE]

デリートプログラムに使用します。(24ページ)

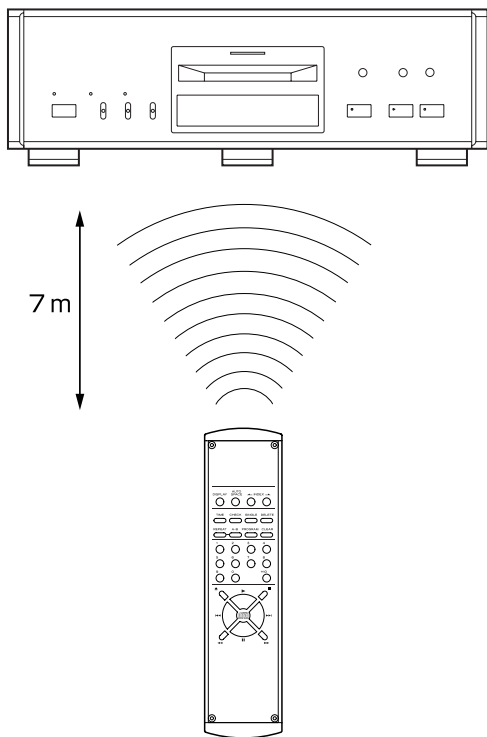
**S** プログラム、クリア、チェックボタン  
[PROGRAM, CLEAR, CHECK]

プログラム再生に使用します。(22ページ)

# リモコンの使い方

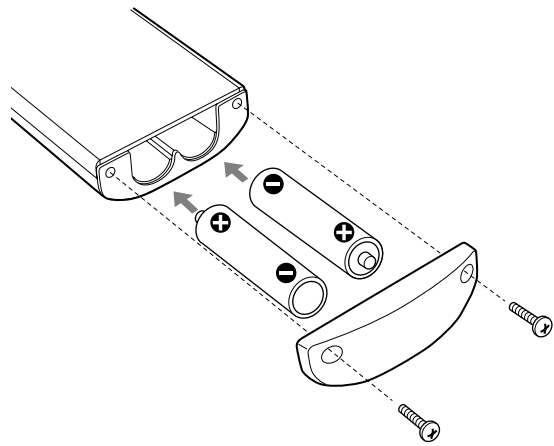
## 使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。



## 電池の入れ方

ドライバーを使ってリモコンのフタを外し、⊕と⊖の向きを確認して乾電池(単3形)2本を入れてから、フタを閉めてください。



## 電池の交換時期は…

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

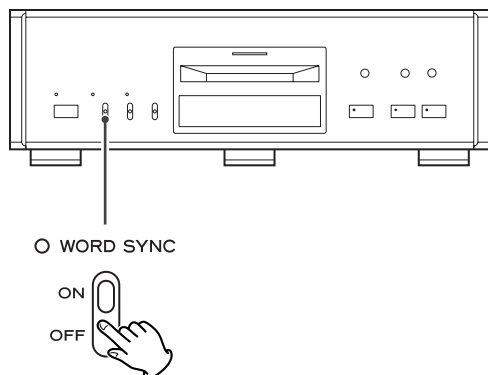
## 電池についての注意

⚠ 乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 乾電池の⊕と⊖の向きを、上の図の通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

# 設定

## ワード・シンク



エソテリックD-70など、外部同期信号(ワード)を出力する機器と接続し、システムの同期(クロック)を一元化して再生したいときに使用します。

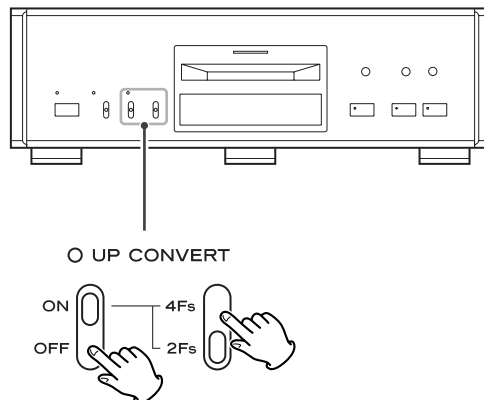
本体のWORD SYNCスイッチでオンとオフを切り換えてください。

- 本機は44.1kHzまたは88.2kHzの同期信号に対応しており、入力された信号によって自動的に切り換わります。
- 停止中にオンにすると、WORD SYNCインジケータが点滅して、外部同期信号をサーチします。同期信号を感知してロックすると、インジケータが点灯に変わり、外部同期による再生が可能になります。
- あらかじめWORD SYNC端子を接続しておいてください。

### PLLフィルターについて

- 本体背面のPLLフィルタースイッチは、工場出荷時はMODE1に設定されています。通常はMODE1でお使いください。
- MODE2のループフィルター・カットオフ周波数の値は、MODE1の約10倍です。同期信号および伝送時のジッターをほとんど無視できる状態になります。高精度の同期信号を受けられる場合は、MODE2をおすすめします。
- MODE2を選ぶと、同期信号に対する追従性が低下するため、ロックするまでの時間が長くなる場合があります。MODE2でロックできない場合はMODE1にしてください。

## アップコンバート

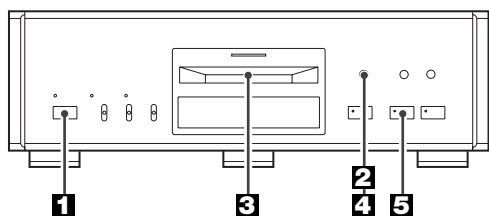


44.1kHzのサンプリング周波数を、2倍(88.2kHz)または4倍(176.4kHz)にアップコンバートして出力することができます。

UP CONVERTスイッチをONにして、4Fs(4倍)または2Fs(2倍)を選んでください。

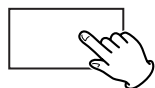
- 4Fs(4倍)を選ぶと、XLR1(R)から88.2kHzのRチャンネルを、XLR2(L)から88.2kHzのLチャンネルを出力するので、ふたつ合わせると176.4kHz相当になります。2本のXLRケーブルを使って、本機のR端子とD/AコンバーターのR端子、本機のL端子とD/AコンバーターのL端子をそれぞれ接続しておいてください。
- 2本のXLRケーブルで接続してあっても、UP CONVERTスイッチがOFFまたはON・2Fsのときは、各XLR端子から通常のステレオモードの信号が出力されます。
- D/AコンバーターがDual AESに対応していない場合や、RCA端子またはOPTICAL端子と接続した場合は、4倍(176.4kHz)にアップコンバートすることはできません。2Fs(88.2kHz)をお選びください。
- 4Fsを選んだときは、RCA端子およびOPTICAL端子からはデジタル信号を出力しません。

# 基本操作



## 1 本体のPOWERスイッチを押す。

○ POWER



電源がオンになり、インジケータが点灯します。

- 本体の電源をオンにしないと、リモコンを使うことはできません。

## 2 OPEN/CLOSEボタン(▲)を押す。

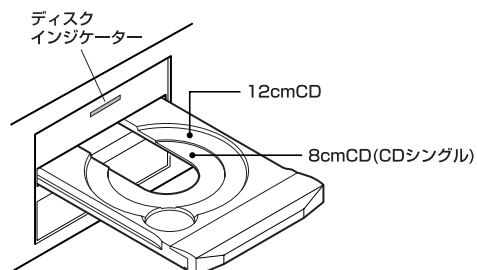
ディスクインジケータが点滅し、ディスクトレイが手前に出ます。

OPEN/CLOSE



ディスプレイに"OPEN"が表示されます。

## 3 ディスクのレーベル面を上にしてトレイの中央にのせる。



- 本機のトレイには、振動対策とディスク保護のために特殊塗装が施されています。ディスクはトレイにのせられたそのままの状態を保ちます。ディスクを中央のガイドから外れた状態でトレイを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレイが開かなくなることがありますので、ディスクは必ずトレイの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

## 4 OPEN/CLOSEボタン(▲)を押す。

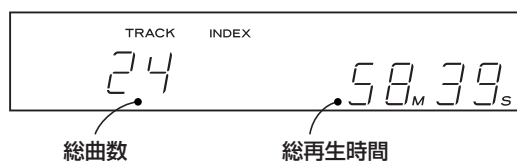
ディスクインジケータが点滅し、トレイが閉まります。ディスプレイに"CLOS"が表示されます。

OPEN/CLOSE



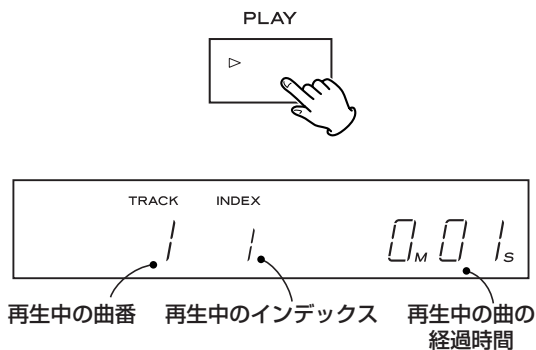
- ⚠ トレーが閉まる時は手をはさまないようにご注意ください。

- ディスクのTOC情報を読み取ると、総曲数と総再生時間が表示されます。
- ディスクをセットすると、ディスクインジケータが点灯します。



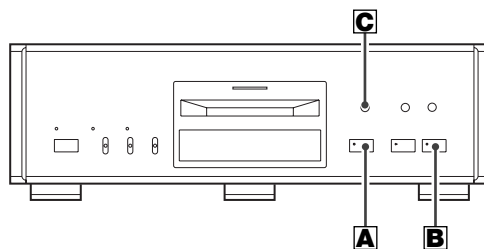


## 5 再生ボタン(▶)を押す。



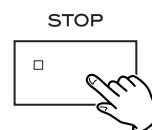
再生ボタンのインジケータが点灯し、1曲目から再生が始まります。  
最後の曲の再生が終わると停止します。

- ディスクをのせたあと、OPEN/CLOSEボタン(▲)を押さずに再生ボタン(▶)またはリモコンの数字キーを押すと、自動的にトレイが閉じて再生を始めます。
- ディスクをのせたあと、OPEN/CLOSEボタン(▲)を押さずに一時停止ボタン(⏸)を押すと、自動的にトレイが閉じて1曲目の頭で一時停止状態になります。一時停止ボタン(⏸)または再生ボタン(▶)を押すと再生が始まります。
- 一曲の中をいくつかに分けて、索引用の番号を付けたものをインデックスといいます。本機でインデックスが記録されたディスクを再生すると、インデックス番号を表示します。インデックスが記録されていないディスクを再生した場合は、「1」を表示します。

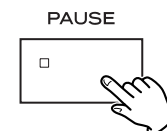


### A 再生をやめるには

停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。



### B 再生を一時停止するには



一時停止ボタン(⏸)を押すと再生が一時停止して一時停止ボタンのインジケータが点灯します。  
一時停止ボタン(⏸)または再生ボタン(▶)を押すと再び再生が始まります。

### C ディスクを取り出すには

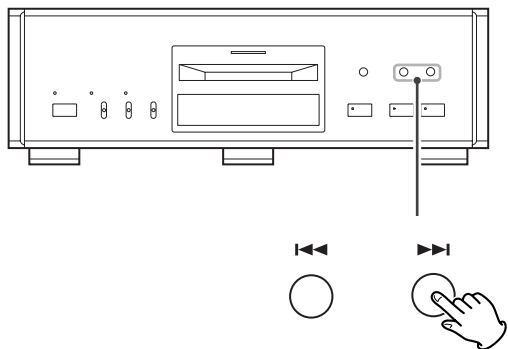
OPEN/CLOSE



停止中または再生中にディスクのOPEN/CLOSEボタン(▲)を押すと、再生が停止してディスクトレイが開きます。ディスクを取り出したら、もう一度OPEN/CLOSEボタン(▲)を押してトレイを閉じてください。

# 選曲するには

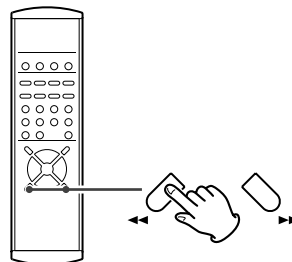
## 聴きたい曲を探すには(スキップ)



再生中にスキップボタン(◀◀/▶▶)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて操作してください。

- 停止中または一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で(一時)停止状態になります。再生ボタン(▶)を押すと再生が始まります。
- 再生中は、◀◀を一回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、◀◀を続けて押してください。
- プログラム再生中は、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。

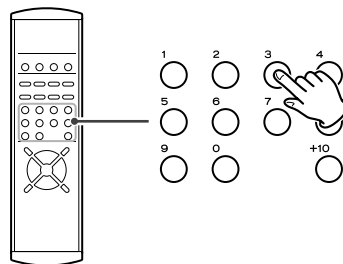
## 聴きたい部分を探すには(サーチ)



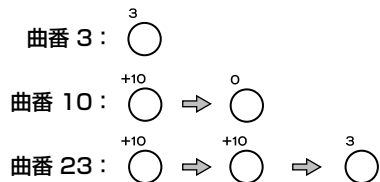
再生中にリモコンのサーチボタン(◀◀/▶▶)を押したままですと、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

- ディスクまたはプログラムの最後の曲の終わりまで早送りすると、一時停止します。
- ディスクまたはプログラムの最初の曲の頭まで早戻しすると、再生が始まります。

## 好きな曲から再生するには

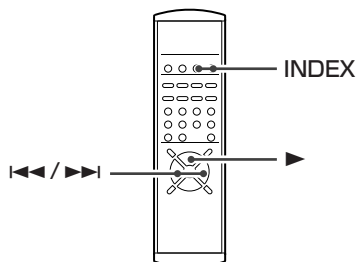


再生中または停止中にリモコンの数字キーで曲番を押すと、その曲から再生が始まります。

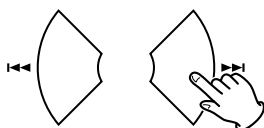


## インデックス・サーチ

インデックス番号が記録されているディスクでは、聞きたいインデックスを指定することができます。



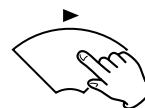
- 1** 停止中にスキップボタンを押してインデックス・サーチしたい曲番を選ぶ。



- 2** リモコンのインデックスボタンを押して、再生したいインデックス番号を選ぶ。



- 3** 再生ボタン(▶)を押す。

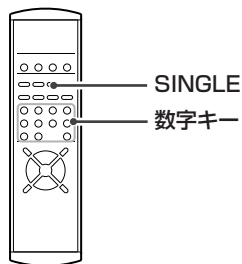


指定したインデックス番号から再生を始めます。

- インデックス・サーチしたい曲の再生中にインデックスボタンを押した場合も、指定したインデックス番号から再生することができます。
- その曲に存在しないインデックス番号を入力すると、その曲の最後のインデックス番号から再生します。

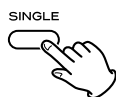
一曲の中をいくつかに分けて、索引用の番号を付けたものをインデックスといいます。インデックス番号が記録されているディスクには、(IN•DEX) マークが付いています。

# 一曲だけ再生するには（シングル再生）



シングル再生モードにすると、1曲再生後に停止しますので、どれか1曲だけ再生したいときに便利です。

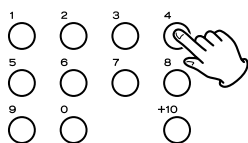
## 1 停止中にリモコンのSINGLEボタンを押す。



ディスプレイのSINGLEインジケーターが点灯します。

- 解除するにはもう一度SINGLEボタンを押してください。

## 2 曲番を選ぶ。



数字キーで曲番を選ぶと、その曲の再生が始まります。スキップボタン(◀◀/▶▶)で選んだ場合は、再生ボタン(▶)を押すと再生が始まります。

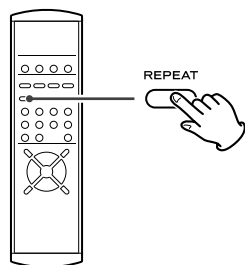
その曲の再生が終わると自動的に停止します。

- 再生中にSINGLEボタンを押した場合は、その曲の再生が終わると停止します。
- シングル再生中にスキップボタンでスキップすると、他の曲を選択できます。
- シングル再生中に曲の最後まで早送りすると、その曲の終わりで一時停止状態になります。

# リピート再生

## 全曲リピート

再生中または停止中にリモコンのREPEATボタンを押すたびに、リピートのオンとオフが切り換わります。オンのときはディスプレイのREPEATインジケーターが点灯します。

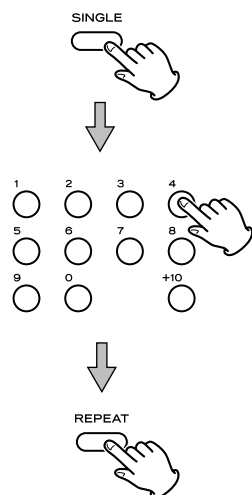


リピートをオンにして再生すると、ディスクの全曲をくり返し再生します。

- プログラム再生中はプログラムされた曲が、デリートプログラム再生中はプログラムされなかった曲がくり返し再生されます。

## 一曲リピート

シングル再生とリピート再生を同時に使うと、1曲だけをくり返し再生することができます。シングル再生については20ページをご覧ください。



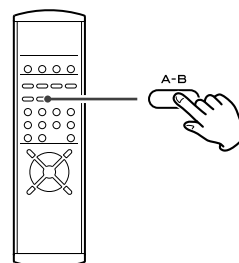
- 1曲だけプログラムしてリピート再生した場合も、1曲だけがくり返し再生されます。

## A-Bリピート

ある特定の部分をくり返し再生することができます。

CDを再生し、くり返しを始めた部分(A点)になったらリモコンのA-Bボタンを押します。

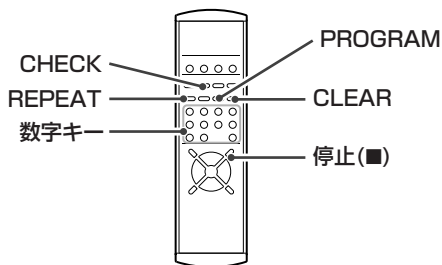
REPEATインジケーターが点灯し、A-Bインジケーターが点滅します。



終了したい部分(B点)でもう一度A-Bボタンを押すと、指定した部分(A-B)がくり返し再生されます。

- B点を指定したあとにもう一度A-Bボタンを押すと、A-Bリピートは解除されて通常の再生になります。
- A点を指定したあと、B点までスキップボタンまたはサーチボタンでスキップまたは早送りすることができます。
- プログラム再生中およびシングル再生中は、曲をまたいで設定することはできません。





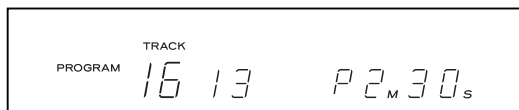
## プログラムした内容を確認するには



停止中または再生中にCHECKボタンをくり返し押すと、曲番とプログラム番号、総再生時間が順番に表示されます。

- 総再生時間が100分を越えた場合は、「分」表示の十の位に、-(100分台)、P(110分台)、A(120分台)、b(130分台)、d(140分台)、無灯(150分台)を表示します。

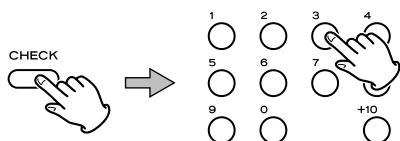
例：総再生時間が112分30秒の場合



## プログラムに曲を追加するには

再生中または停止中に数字キーで曲番を押すと、プログラムの最後に曲が追加されます。

プログラムの途中で曲を追加したい場合は、CHECKボタンをくり返し押して、追加したい場所のひとつ前のプログラム番号を表示させてから、数字キーで曲番を押してください。



## プログラムした曲を削除するには



再生中または停止中にリモコンのCLEARボタンを押すと、最後にプログラムした曲だけが削除されます。

プログラムの途中の曲を削除したい場合は、CHECKボタンをくり返し押して削除したいプログラム番号を表示させてから、CLEARボタンを押してください。プログラムからその曲が削除され、次にプログラムされていた曲が繰り上がって表示されます。

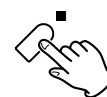
## プログラムモードの解除



以下のボタンを押すとプログラム再生モードが解除され、全てのプログラム内容も消去されます。

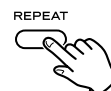
PROGRAMボタン、DELETEボタン  
SINGLEボタン、OPEN/CLOSEボタン(▲)  
電源スイッチ

## 全てのプログラム内容の消去



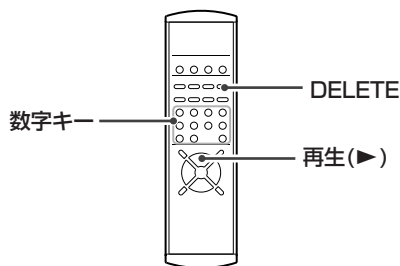
停止中に停止ボタン(■)を押すと、プログラム再生モードは解除されませんがプログラム内容は消去されません。

## プログラムした曲をリピート再生するには



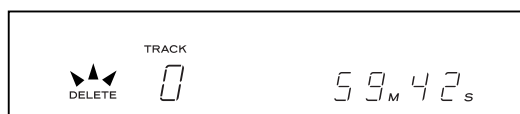
プログラムしたあと、REPEATボタンを押してリピートをオンにすると、プログラムした曲がくり返し再生されます。

# デリートプログラム再生



ディスクの中の「再生したくない曲」を指定すると、それ以外の曲だけを再生することができます。

- 1** 再生中または停止中にDELETEボタンを押す。

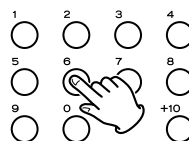


ディスクの総再生時間が表示され、「DELETE」が点滅します。

- 2** 数字キーで削除したい曲番を選ぶ。

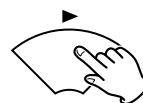
複数の曲を削除したいときは、数字キーをくり返し押してください。

- 再生中の曲は削除できません。



選んだ曲番      プログラム番号      プログラムされていない曲の総再生時間

- 3** 再生ボタン (▶) を押す。



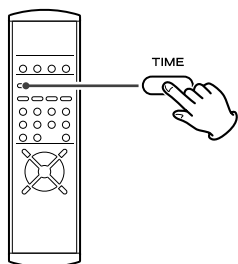
削除されなかった曲だけを、曲番の若い順に再生して停止します。

停止したあともプログラム内容はそのまま残っていますので、再生ボタンを押すと再びデリートプログラム再生を始めます。

- デリートプログラムの内容は、23ページの手順で変更/消去/解除することができます。
- CHECKボタンを押すと、削除した曲を曲番の若い順に並び替えて表示します。
- 削除しなかった曲のなかに曲番が21以上の曲がある場合は、総再生時間は表示されません。



# ディスプレイの表示



リモコンのTIMEボタンを押すと、ディスプレイの表示が変わります。

## 再生中の曲番と再生中の曲の経過時間



## 再生中の曲番と再生中の曲の残り再生時間

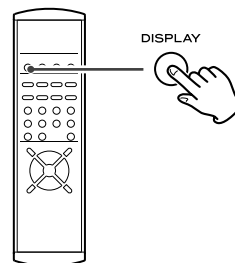


曲番21以上の曲の再生中は、「残り再生時間」は表示されません。

## 再生中の曲番と再生中のディスクの残り再生時間



## ディスプレイを消灯するには



リモコンのDISPLAYボタンを押すと消灯モードになり、電源インジケータ以外の全ての表示を消すことができます。もう一度押すと元に戻ります。

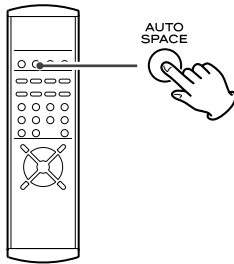
ディスプレイから発生する僅かなノイズを抑えることで、より良い音質をお楽しみいただけます。

- 消灯中に再生ボタンなどを操作した場合は、約4秒間だけディスプレイが点灯します。
- 電源を切ると、消灯モードは解除されます。

# 便利な機能

## 曲の間を4秒あけて再生するには

オートスペース機能を使うと、各曲の間を4秒あけて再生することができます。テープなどに録音して頭出ししたいときに便利です。



リモコンのAUTO SPACEボタンを押すたびにオンとオフが切り換わります。

オートスペースがオンのときは、ディスプレイに"AUTO SPACE"が点灯します。

● 停止ボタン(■)を押すとオートスペースは解除されます。

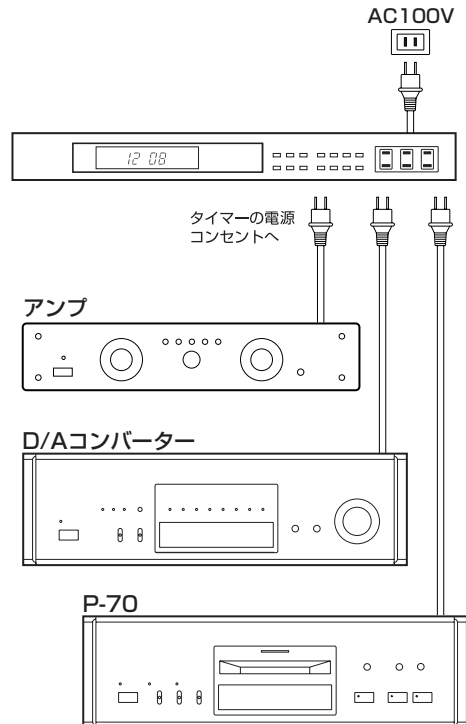
## タイマー再生

本機は、ディスクが入った状態で電源を入れると自動的に再生が始まるように設計されています。

外部のタイマーと本機を連動させれば、設定した時刻にCDの再生を始めることができます。


1. 電源コードを下図のように接続する。  
D/Aコンバーターとの接続は10ページをご覧ください。
2. タイマーをONにして、各機器の電源スイッチを入れる。
3. 本機にディスクをセットする。
4. アンプの入力をCDに切り換えて、音量を調節する。
5. タイマーを希望の時刻に設定する。  
各機器の電源が切れます。  
指定した時刻になると各機器に電源が入り、CDの再生が始まります。

● タイマー再生しないときは、ディスクを取りだしておいてください。



# コンパクトディスクについて

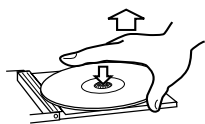
本機では、以下のディスクが再生できます。

- ・  マークのあるCD(12cm/8cm)
- ・ 正しい方法でファイナライズされたCD-R

## 注意：

- ・ ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。
- ・ CD-RWは再生できません。
- ・ コピーコントロールCDなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの録音/再生は片面だけです。)
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

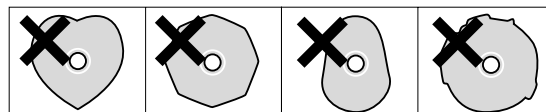


- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

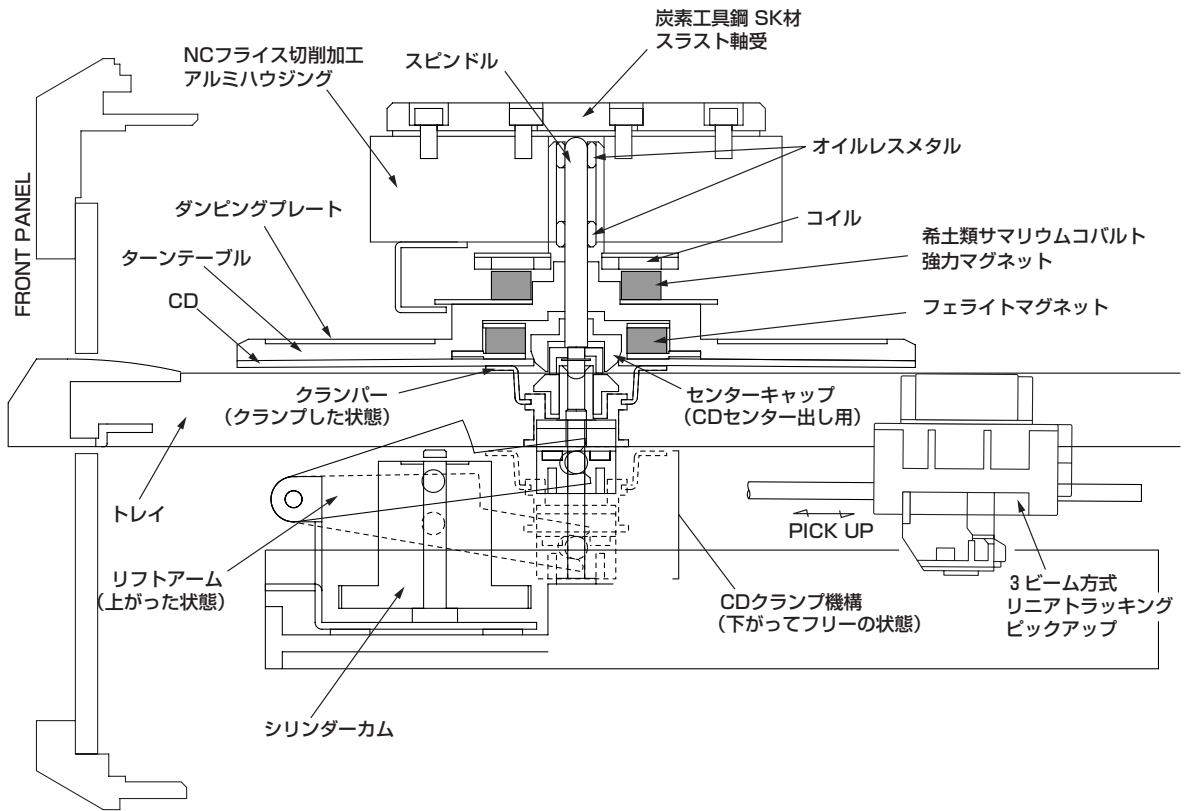
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。
- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- レーベル面に印刷するタイプのディスク(プリンタブル)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどを貼ったあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



- ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

# 解説

ESOTERIC P-70 ドライブ機構略図 (大径圧着テーパード・ターンテーブル)



## ディスクの反りを矯正する大径圧着式テーパード・ターンテーブル採用のV.R.D.S.(Vibration-Free Rigid Disc-Clamping System)機構

きわめて安定したスタビライザー効果をもたらす、大径圧着式アルミ・テーパード・ターンテーブル採用のV.R.D.S.機構。ディスクと同径で、しかも微少な角度をもつターンテーブルに、高精度に調整されたクランパーがディスクを圧着し、反りや歪みを矯正。そして、ターンテーブルと同角度に微調整されたピックアップにより、常にピックアップ光軸の中心で微細なピットを正確に読み取ると同時に、ディスクの不要な振動を極少にすることを可能にした、画期的なディスク・クランピング・システムです。すなわち、ピットをきわめて正確に読み取ることで、エラー補正量、サーボ量を大幅に低減。その結果、電気的にはサーボ電流の変動や読み取りエラーを激減させ、機械的にはサーボ時のレンズ振動に起因するノイズの発生や駆動部全体の振動などにより発生するノイズを極少にし、音質を飛躍的に向上させることに成功しています。

また、従来のCDプレーヤーでは、ピックアップ部とモーターを含めたターンテーブル部が近接せざるを得ない構造であったため、強度や剛性の点で十分であるとは言えませんでした。P-70では、ディスク・ドライブ・モーターをNCフライス切削加工アルミハウジングに固定。ピックアップ部と完全分離することでモーター軸受、ピックアップベースの剛性、強度を飛躍的に高めることに成功しました。さらにターンテーブルに高剛性アルミ合金を使用。耐久性、回転安定性ととも高い信頼性のブラシレス・ホール・モーターと相まって、振動に影響されず耐振・耐共振性を飛躍的に高めた高精度メカニズムを実現しました。

# 困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

## 電源が入らない

- ➔ 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？

## 音が出ない。

- ➔ D/Aコンバーターおよびアンプとの接続を確認してください。
- ➔ D/Aコンバーターおよびアンプの操作を確認してください。
- ➔ D/Aコンバーターと接続した端子のスイッチをONにしてください。

## リモコンで操作できない。

- ➔ 本体の電源をオンにしてください。
- ➔ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から7メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。

## ディスクを入れても再生できない。

- ➔ 防振装置が"LOCK"のときは再生できません。ディスクを取り出して電源を切ってから、防振装置を解除してください。
- ➔ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➔ CD-RWは再生できません。
- ➔ CD-Rは、ディスクの品質、録音の状態によっては再生できないことがあります。ディスクを交換してください。
- ➔ ファイナライズしていないCD-Rは再生できません。CDレコーダーなどを使ってファイナライズしてください。

## プログラム再生できない。

- ➔ 電源を切ったり、ディスクトレイを開閉すると、プログラムは消去されます。誤ってプログラムを消去してしまった場合は、もう一度プログラムし直してください。

## 一曲しか再生できない。

- ➔ "SINGLE"が点灯していたら、リモコンのSINGLEボタンを押してシングル再生モードを解除してください。

## 音飛びがする。

- ➔ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

## 結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1~2時間そのまま放置してください。正常に動作するようになります。

## 音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。



適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

# 仕様

## ピックアップ

駆動方式 ..... リニアモーター駆動  
 方式 ..... 対物レンズ駆動、光学式3ビーム  
 レンズ駆動方式 ..... 2次元平行駆動  
 光源 ..... 半導体レーザー  
 波長 ..... 780nm

## デジタル出力フォーマット

標本化周波数 ..... 44.1kHz  
 周波数精度 .....  $\pm 50$ PPM  
 量子化ビット数 ..... 16ビット・リニア/チャンネル  
 伝送レート ..... 3.072Mb/sec  
 変調方式 ..... バイフェーズ・マーク変調

標本化周波数 ..... 88.2kHz  
 周波数精度 .....  $\pm 50$ PPM  
 量子化ビット数 ..... 24ビット・リニア/チャンネル  
 伝送レート ..... 6.144Mb/sec  
 変調方式 ..... バイフェーズ・マーク変調

標本化周波数 ..... 176.4kHz(Dual AES)  
 周波数精度 .....  $\pm 50$ PPM  
 量子化ビット数 ..... 24ビット・リニア/チャンネル  
 伝送レート ..... 6.144Mb/sec(ダブルワイヤ)  
 変調方式 ..... バイフェーズ・マーク変調

## デジタル出力特性

RCA(COAXIAL) ..... 0.5Vp-p/75 $\Omega$   
 XLR(BALANCED) ..... 4.5Vp-p/110 $\Omega$   
 OPTICAL(TOS) ..... -12.5~-16dBm

## ワードシンク入力フォーマット

BNC ..... 44.1kHz, 88.2kHz 矩形波  
 4.5Vp-p/75 $\Omega$

## 一般

電源 ..... AC100V 50-60Hz  
 消費電力 ..... 12W  
 寸法(WxHxD) ..... 465×162×355(mm)  
 質量 ..... 約25kg

## リモコンRC-760

方式 ..... 赤外線パルス方式  
 電池 ..... DC3V(単3、SUM-3×2)  
 寸法(WxHxD) ..... 57×21×216(mm)  
 質量 ..... 約320g(電池含む)

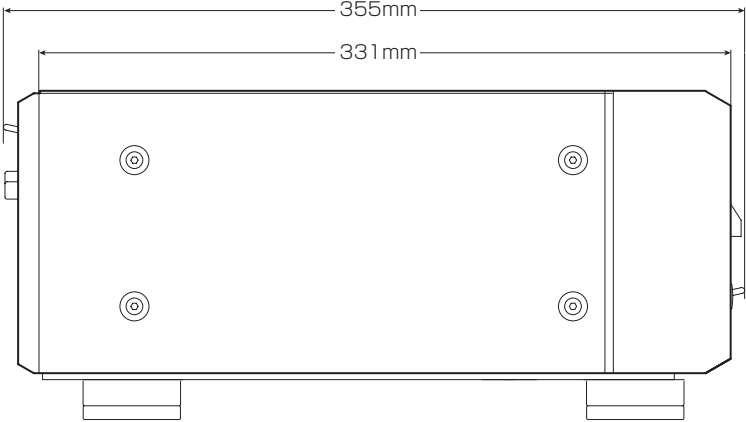
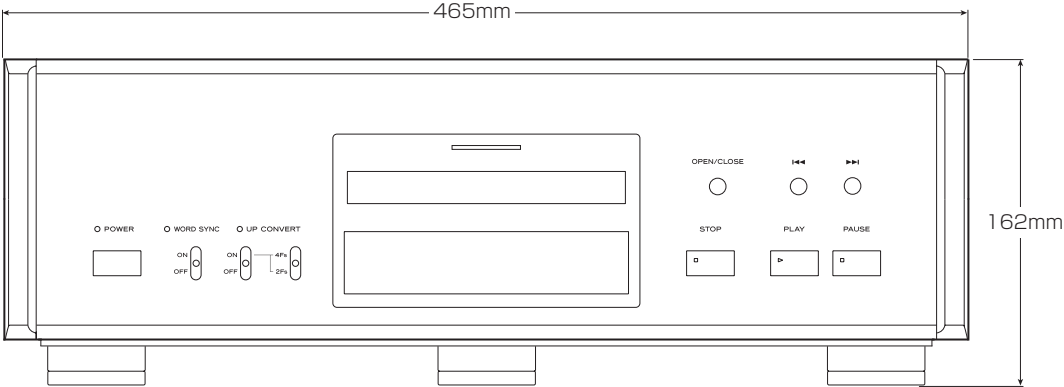
## 付属品

電源コード ×1  
 リモコン(RC-760) ×1  
 乾電池(単3、SUM-3) ×2  
 防振装置用の金具 ×1  
 ご愛用者カード ×1  
 取扱説明書(バインダー含む) ×1

仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

# 寸法図





# 保証とアフターサービス

## ■保証書

保証書は御愛用者カードと引き換えに発行いたします。添付の御愛用者カードに必要事項を御記入の上、速やかにお送りください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日から一年です。

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、ご購入のの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

## ■修理を依頼されるときは

30ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入の販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

## 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

## 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

## 修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。  
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費等が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。  
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## 修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CDドライブユニット P-70

ご購入日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

## ■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要ななる収集費などの費用は、お客様のご負担となります。

## 分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。  
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

# ティアック株式会社

ティアック エソテリック カンパニー  
〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

## この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、  
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

### AVお客様相談室



**0570-000-701**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3  
電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

## 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。  
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

### ティアック修理センター



**0570-000-501**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7  
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。